

令和5年度 第1回岐阜県先端科学技術体験センター指定管理評価員会議

1 日時

令和5年9月15日 14:00～16:00

2 場所

岐阜県先端科学技術体験センター会議室

3 出席者（敬称略）

評価員 : 4名（岡田 優子、工藤 恵美子、高橋 信一、三宅 崇）

[開催日時点評価員数：4名]

指定管理者 : (株) トータルメディア開発研究所 2名

中電クラビス (株) 2名

館職員 4名（館長、副館長、教育普及課長、利用促進課長）

岐阜県（事務局）：文化伝承課 3名（課長、教育文化係長、担当）

4 議題

- ・令和4年度の事業報告について

5 配布資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・評価表
- ・指定管理評価員会議設置要綱
- ・資料1「令和4年度 岐阜県先端科学技術体験センター 事業計画書」
- ・資料2「令和4年度 岐阜県先端科学技術体験センター 事業報告書」
- ・参考資料1「岐阜県先端科学技術体験センター管理運営業務仕様書」
- ・参考資料2「令和5年度・第1回岐阜県先端科学技術体験センター指定管理評価員会議 事業説明資料」

6 議事要旨

- ・資料に基づき令和4年度の事業について説明

【質疑応答等】

・高橋評価員

昨年度から新たに Peatix を活用してイベント等の申込みを実施したとのことだが、導入の経緯を知りたい。

・指定管理者（館長）

個人情報を取らなくてもよい点、センターに來れない遠方の方でも申し込みができる点、事務負担が軽減される点、登録者に情報が自動で届く仕組みがある点などを踏まえて導入した。

・三宅評価員

オンライン講座で、質問への対応が難しいとのことだったが、具体的にどんな課題があるか。「質問の共有」は大事な点なので、難しいかもしれないが引き続き検討してほしい。

・指定管理者（教育普及課長）

当初はチャット形式を検討していたが、タイムラグの発生がネックとなり、断念した。質問を事後に受け付けるか、アシスタントを導入して掛け合い形式とし、アシスタントが参加者の立場で質問する形を検討中。

【評価員による講評】

・岡田評価員

学校では昨年度から生徒一人に一台タブレットが支給されているので、これらを活用してもらい、オンライン事業を充実させてほしい。また、センターの取組をより周知できるような工夫ができるとよい。

・高橋評価員

新型コロナウイルスの影響で人数制限せざるを得ない状況の中で、それを打開するような取組や工夫によって、利用者数が回復傾向にあることは称賛に値する。

・三宅評価員

高校の科学部や大学生の生徒が子供の講師として関わることで、キャリア教育やコミュニケーター育成の場となっている点は評価でき、センターが展示ではなく、体験を主としている独自性が活かされている。

※工藤評価員

家族連れや中学生以上が行きたくなるようなイベントが増やせるとよい。

※工藤評価員は都合により、質疑応答前に途中退席され、後日評価表を郵送いただいた。

7 評価結果

評価項目	平均点
管理基準の充足状況	4.25
設置目的の充足状況	4.50
公共性の確保の状況	4.00
経営状況	4.25
派生的効果	4.25